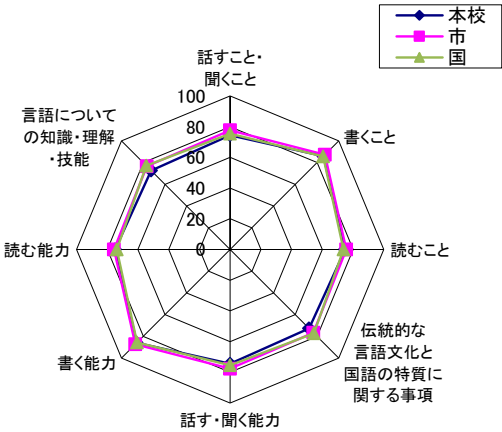


宇都宮市立陽南中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

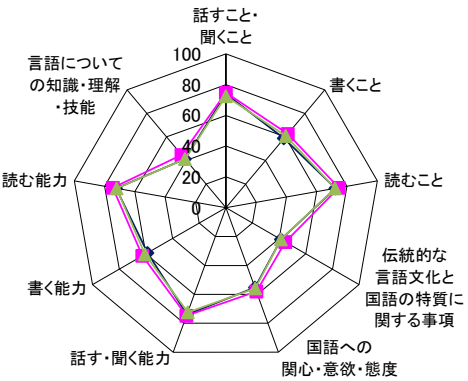
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.4	77.6	75.4
	書くこと	85.9	87.3	85.7
	読むこと	74.9	75.6	73.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.7	76.6	77.2
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	74.4	77.6	75.4
	書く能力	85.9	87.3	85.7
	読む能力	74.9	75.6	73.8
	言語についての知識・理解・技能	72.7	76.6	77.2



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.0	74.8	72.4
	書くこと	58.8	62.6	60.8
	読むこと	72.4	74.6	72.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	41.4	44.7	41.4
観点	国語への関心・意欲・態度	55.3	58.0	55.9
	話す・聞く能力	74.0	74.8	72.4
	書く能力	58.8	62.6	60.8
	読む能力	72.4	74.6	72.1
	言語についての知識・理解・技能	41.4	44.7	41.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○相手に分かりやすいように語句を選択して話すという問題の正答率は県、全国と同程度である。 ●事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話すという問題については、県より3. 6ポイント、全国より3. 4ポイント低い。 ●話すための材料を人との交流を通して集めるという問題については、県より2. 2ポイント、全国より2. 7ポイント低い。	・相手の話の要点がどこにあるのか、小グループでの意見交換の場などで注意深く聞くようにする。また、的確に話を聞くポイントについて資料を精選して生徒に提示するなどの学習を行っていく。
書くこと	○一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択するという問題については、県より3. 6ポイント、全国より3. 2ポイント高い。 ●スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直すという問題については、県より2. 2ポイント、全国より3. 6ポイント低い。	・各学年に配置されている「書くこと」の学習教材を使うだけでなく、巻末の「学びを支える言葉の力」を活用することで、書く力を身に付けさせるようにする。
読むこと	○本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択するという問題については、県より2. 3ポイント、全国より3. 4ポイント高い。 ○地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す問題については、県より1. 0ポイント、全国より1. 4ポイント高い。 ●目的に応じて必要な情報を読み取るという問題については、県より4. 2ポイント、全国より3. 7ポイント低い。	・小説などの教材を通して、場面や登場人物の心理状態を捉えるなどして、登場人物の心情や行動の背景を考えさせる。 ・説明文の読解では、日頃の単元の読解で筆者の主張を短作文にまとめさせるなどして、筆者の主張の中心的部分を押さえられるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○話し言葉と書き言葉との違いを理解するという問題については、県より3. 7ポイント、全国より3. 4ポイント高い。 ●楷書と行書との違いを理解するという問題については、県より17. 1ポイント、全国より19. 1ポイント低い。	・文法の学習材については、プリントを適宜利用するなどして品詞の分類などについて押さえさせる。また、漢字については各学年とも単元テストを実施し、漢字の定着を図る。古文の仮名遣いについては、古文の学習材だけでなく、詩や短歌、俳句など古典以外の学習材でも出てくることはあるので、適宜指導する。